

大田市駅周辺東側地区まちづくり瓦版

第1回合同部会を開催しました！！

昨年度組織したワーキンググループを3部会に再編し、大田市駅周辺東側地区のまちづくりを具現化するために、より具体的な検討を行うことを目的に、平成24年7月26日(木)に「第1回合同部会」を開催しました。

第1回は「各部会の目的、達成目標の共有」、「昨年度の振り返り」、「アンケート結果の報告」、「先進事例の紹介・講演」、「次回に向けた意見交換」を実施しました。

■ 第1回大田市駅周辺東側まちづくり検討“合同部会”実施概要 ■

- 日時：2012年(平成24年)7月26日(木) 19:00~21:00
- 場所：商工会議所 2F
- 参加者：22名(商工会議所、地区内外自治会長、商店主、住民等)
- プログラム

18:30 ~ 19:00 (30分)	受付
19:00 ~ 19:05 (5分)	開会のあいさつ
19:05 ~ 19:15 (10分)	趣旨説明
19:15 ~ 19:30 (15分)	アンケート調査結果の報告
19:30 ~ 20:20 (50分)	講演「大田市の商業活性化に向けて」
20:20 ~ 20:40 (20分)	グループワーキング 意見交換
20:40 ~ 20:55 (15分)	意見共有(発表)、総括(次回に向けて)
20:55 ~ 21:00 (5分)	今後の予定、閉会のあいさつ



講演の様子



意見交換の様子

●発行：大田市 建設部 都市計画課 都市計画係
〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111
TEL (0854)82-1600(代表) FAX (0854)82-1722

◆講演の内容と意見交換の内容◆

松江市中心市街地活性化協議会のまちづくりサポーターである井ノ上 知子氏に「大田市の商業活性化に向けて」～多様な関わりが変化を生みだす～と題して、実際に携わられた松江市の京店商店街、新大橋商店街の事例を通して、大田市駅前の商業活性化のヒントになる事項をご講演いただきました。

また、その後、講演の内容や今後の大田市駅周辺東側地区のまちづくりに向けた意見交換を行いました。

【講演概要】事例からのヒント！！

(京店商店街)

- ・カラコロ大黒(大黒様のモニュメント)や石畳みの中にあるハートの石などを絡めたテーマでイベントを実施したりすることでにぎわいを生み出している。
- ・イベントでは大学生や地域住民、飲食業を営む人が出店している。飲食業の方は土日の昼間は閑散期であるため協力しやすい。
- ・寄金を毎週かささず実施している。気兼ねなく意見を言い合い、良いアイデアについてはアイデアを出した人が中心となって実行に移している。また、それ以外の人も必ずバックアップする体制となっている。

(新大橋商店街)

- ・アーケードの落下を機にまちづくりの機運が高まった。
- ・地域の祭りの外部への開放、見守りたいの結成、シジミを使った料理教室の開催など地域に貢献しながら商店街を営んでいる。

【参加者による意見交換】

商業活性化	次世代に商店街を引き継ぎたい
	商店街は地域コミュニティの核になって欲しい
	飲食、B級グルメ等のお店に魅力を感じる
	外の人からも商店街は、独自の力だけで、生き返れないと言われる
	女性の心をつかむのはご縁&食がキーワードだと感じた
	地元で地元のものが買えない
	空き店舗の利用が進んでほしい
まちづくり	歩いて買い物ができるとうい
	楽しい事をやると人が集まって来る
	駅周辺は交通の要所であることを認識する必要がある
歩行者中心のまち	市内のグループが集合して、色々な取り組みを提案できる場があると良い
	(まちづくりのテーマとして)縁結びポイントを設置してはどうか
子どもの遊び	高齢者にやさしい道になってほしい
	ベビーカーが走りやすい町になって欲しい
道路整備	歩道の段差をなくし、人(子どもや老人)に優しいまちづくりをすることが大事
	山崎・城山駅交差点の整備をしてほしい
駐車場	優先的に三瓶山公園線の整備してほしい
	車で買い物客が多いので、駐車場は必要
一方通行	一方通行に不満 不便はない
部会運営	新しい人が参加されて活気が出た。